

## 令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析

4月に6年生が実施しました「全国学力学習状況調査」の結果を分析しました。読書の定着が学力向上につながっていることが伺えます。この結果を基に、授業改善を行い、さらに学力を伸ばせるように努めて参ります。ご家庭でも、学習時間を確実に取っていただき、家庭学習の定着を図っていただくよう、お願いいたします。

### <国語>

#### ○身に付いている力

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝えたいことを明確にする力。
- ・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付く力。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力。

#### ▲伸ばしたい力

- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える力。
- ・漢字を文の中で正しく使う力。
- ・文中において、主語と述語との関係を捉える力。

#### ◇改善策

- ・物語の中で、登場人物の行動や気持ちについて考える際に、根拠を明確にしながらか自分の考えを説明し合うなどし、表現や描写を意識しながら読み進めるようにしていく。
- ・漢字を習得する際には、文の意味を捉えて正しい漢字が使用できるように、使用例を用いて学習を進める。
- ・文法学習では、短文だけでなく、物語や説明文の中での主語と述語との関係を捉えられるようにする。

### <算数>

#### ○身に付いている力

- ・数量の関係を□を用いた式に表す力。
- ・除数が少数である場合の序数を計算する力。
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する力。
- ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る力。

#### ▲伸ばしたい力

- ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に、その理由を言葉や数を用いて記述する力。
- ・球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す力。
- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する力。

#### ◇改善策

- ・日常の具体的な場面に即応して考えるなど、数学的な視点と日常生活の視点を往還しながら考える場面を作り、道のりと速さの関係や球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係の理解力、グラフの読み取り力を高めていく。

### <児童質問紙調査>

#### ○身に付いている力

- ・国語の授業で、目的に応じて話すために集めた材料をいくつかのまとまりに分けたり結びつけたりしながら伝える内容を考えている。
- ・算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろんな方法を考えている。

#### ▲課題

- ・「自分と違う意見について考えることは楽しい。」と思わない児童が全国や県平均よりも多い。
- ・「学校の授業以外に1日にどれくらい勉強していますか。」の質問では、半数以上が1時間未満であり、全国や県平均よりも少ない。

#### ◇改善策

- ・授業では、小グループで自分の意見を交わし、互いに聴き合い、受容できる雰囲気を作り、他者の意見を聴くことや自分の意見を述べることの楽しさを実感させる。
- ・家庭学習の課題の出し方を工夫し、関心を持って意欲的に取り組める内容となるようにし、学習時間が増えるようにする。
- ・各教科で基礎基本が徹底できるように、継続的に取り組む時間を設ける。
- ・読書習慣を身に付け、読解力や語彙力を増長できるように、朝読書の徹底や図書館環境の整備、ブックトークの実施などを行うなど、読書に慣れ親しむようにする。